

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2237 号

Segmental Coupling Effects during Correction of Three-Dimensional Lumbar Deformity Using Lateral Lumbar Interbody Fusion

腰椎側方進入椎体間固定術による術部局所の 3次元矯正効果

山口 寛人 (やまぐち ひろと)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、従来の二次元画像データで正確に測定することが困難であった複雑な三次元変形を来した変性腰椎を、CT から作成された 3D モデルを定量解析する手法で検討したものである。近年、低侵襲で変性側弯の椎体間矯正を可能にした lateral lumbar interbody fusion (LLIF, 腰椎側方進入椎体間固定術) が行われ、有用性が検討されているが、その矯正機序は明らかでない。LLIF を行った患者の術前後形態変化を正確に測定し、腰椎椎間変形を定量的に解析し、本手技による椎間変形矯正効果を検討した。本研究によって、腰椎変性疾患を有する患者の椎間楔状角と椎間回旋角に正の相関関係があることが証明された。更に、術後の椎間楔状角と椎間回旋角にも正の相関関係があることが分かり、それは術前の相関関係と相似していた。また、LLIF によって、椎間楔状角と椎間回旋角は減少することが証明された。これらの事実から、腰椎変性疾患患者の腰椎において、①椎間楔状変形と椎間回旋変形が連動していること、②椎体間ケージ挿入による椎間楔状変形矯正のみで、同時に椎間回旋変形も矯正されることを始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。